

＜3＞ 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか

＜大学全体＞

本学及び各学部・研究科の教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針等は、教職員には『神奈川大学の基本方針 2014』及び『学校法人神奈川大学将来構想』（ハンディリーフレット）を通じて、学生には『履修要覧』を通じて、受験生には『CAMPUS GUIDEBOOK』『大学院案内』『入学試験要項』等の刊行物を通じて、周知するとともに、ホームページで広く社会に公表している《資料IV-1-2 No. 1、IV-1-3～6、IV-1-10～11》。なお、上記のハンディリーフレットは、学士課程教育に関する基本方針（学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針等）、学校法人神奈川大学将来構想及び大学の沿革・組織・概要等をコンパクトにまとめたもので、教職員が常にこれらを意識できるようにとの目的から配付している。また、『神奈川大学の基本方針』は全国約 5,200 校の高等学校に、2011 年の刊行以降毎年度送付している。

＜1 法学部＞

本学部の教育目標、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は、本学部の履修要覧や学部ホームページ等に記載されており、新入生には、入学時のガイダンスにおいて説明を行っている。また、在学生については、2 年次のガイダンス及び履修指導等において、本学部の教育目標等に基づく学習が図られるように、指導を行っている。前述のガイダンスは、本学部の教員が担当することで、本学部の教員への教育目標等の周知も図られている。さらに、オープンキャンパス及び父母懇親会において、本学部の教育目標等の説明を行っている。

＜2 経済学部＞

本学部の教育目的、教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針は、本学部の履修要覧《資料IV-1-3 経済学部履修要覧 pp. 2-4》に記載されており、教員は 4 月最初のオリエンテーション時に学生に説明し周知徹底している。特に学科ごとに詳細に方針が記載されており、ゼミナールなどでも説明している。社会に対しては、本学部ホームページ《資料IV-1-2 No. 6》で詳細に紹介している。

＜3 経営学部＞

2014 年度から適用された新カリキュラムについては、教職員並びに学生に対して、あらゆる機会を通じて丁寧に説明を行い、周知を徹底している。すなわち、専任教員に対しては、毎月開催されている学部教授会において、非常勤講師には教育経験交流集会や非常勤講師懇談会の場で、新カリキュラムの編成体系と科目履修方法を多くの時間をかけて説明を行っている。

学生に対しては、履修要覧《資料IV-1-3 経営学部履修要覧 pp. 2-3》に詳細に説明すると同時に、新入生オリエンテーション及び留学生オリエンテーションにおいて、総合学修及び個別説明並びに履修相談を行い、学生の理解を徹底している。また、社会に対しては、本学及び経営学部 HP を通じて公表すると同時に、受験生やその保護者には入学前の学部説明会等で開示している。

＜4 外国語学部＞

大学全体で既述のとおり、本学部の教育目標、教育課程編成・実施の方針は大学ホーム

ページや履修要覧《資料IV-1-3 人間科学部履修要覧 pp. 2-3》、『神奈川大学の基本方針』《資料IV-1-4 pp. 81-82》等の各種媒体を通じて学生・教職員に周知するとともに広く社会に公表しており、外国語学部独自のホームページ《資料IV-1-2 No. 8》においても周知を図っている。

《5 人間科学部》

本学部・学科の教育目標、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は、本学及び人間科学部ウェブサイト《資料IV-1-2 No. 9》を通じて広く社会に公表している。また、入学ガイダンス時の学部長及び学科主任、クラス担任による説明、1年次の必修科目「人間科学概論」《資料IV-1-9 人間科学部シラバス p. 57》やFYS《資料IV-1-8》等における担当教員からの説明のほか、2年次以降は専門ゼミナールの担当教員を通じた指導を行っている。さらに、2014年度より入学ガイダンス期間に学部の新入生全員（約300名）を対象とした学部独自のガイダンスを実施し、教育目標や学位授与方針等について説明することとした。

なお、各コースの教育課程の編成・実施方針と大きく関わる専門的な資格取得（トレーニング指導者資格、認定心理士資格、社会調査士資格）について毎年4月に説明会を開催しているが、このような場でも各コースの教育課程の編成・実施方針と関連付けた説明を行っている。

《6 理学部》

毎年3月末に総合理学プログラムの部門会議を招集し、各学科主任と教務担当者が理学部全体の各種方針と具体的なカリキュラムについて綿密な打ち合わせを行っている。この会議の内容を全教員に告知した上で、学生へのガイダンスに臨んでいる。また、教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針は、履修要覧及びウェブサイト《資料IV-1-2 No. 1、IV-1-3 理学部履修要覧 pp. 2-8》で公開している。

《7 工学部》

本学部の教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針は、履修要覧、工学部パンフレット《資料IV-1-12》、ホームページ、『神奈川大学の基本方針』により大学構成員及び社会に公表している。また学生には、さらに4月の学生向けガイダンス、初年次教育科目「FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」、各学科・プログラムで開催する新入生イベント「FOC（Freshman Orientation Camp）」にて周知の徹底を図っている。その他、学科独自の学修目標手帳の配付も行っている学科（物質生命化学科、情報システム創成学科、建築学科）もある。《資料IV-1-13》

《8 法学研究科》

毎年度4月の研究科委員会で、教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針等を全研究科教員に配付し、説明している。全大学院生には4月当初のガイダンスでこれを周知している。同時にHP上に方針を掲載し、社会に公表している《資料IV-1-2 No. 1》。

《9 経済学研究科》

履修要覧・シラバス、大学院案内、本研究科オリジナルサイトに、教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を掲載し、大学構成員への周知と社会への公表を行っている《資料IV-1-2 No. 13、IV-1-5 pp. 70-72、IV-1-6》。

《10 経営学研究科》

神奈川大学公式ホームページ《資料IV-1-2 No. 1》、オープンキャンパス、履修要覧《資料IV-1-5 pp. 130-132》、冊子資料類はもとより、本研究科のオリジナルホームページを作成し、対外的な情報公開と広く社会に向けた活動の周知とPRにつとめている。湘南ひらつかキャンパス大学院開設20周年を記念し、『大学院開設20周年 大学院で何を学ぶか』(全420頁)《資料IV-1-14》という冊子を理学研究科と共同で発行し、学内のみならず外部の機関、受験生などに配布している。

《11 外国語学研究科》

本研究科の「教育目標」「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」は、冊子版の『神奈川大学大学院履修要覧』《資料IV-1-5 pp. 164-170》によって教職員と学生に周知されている。これらはまた、本学公式ホームページ上の『履修要覧』によって、社会に公開されている。本研究科の「教育目標」「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」は、本学公式ホームページの「外国語学研究科」の項目でも、社会に公表されている。さらに本研究科オリジナルサイトでも、「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」が、社会に公表されている。受験生は、『神奈川大学大学院案内』《資料IV-1-6》によっても、本研究科の「教育目標」「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」を知ることができる。

《12 人間科学研究科》

本研究科の教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針は、2014大学院履修要覧・シラバス、「神奈川大学の基本方針2014」《資料IV-1-4 pp. 134-145》、ホームページ「神奈川大学 一本学の情報」《資料IV-1-2 No. 1》など様々な媒体に掲載されている。受験生には大学院説明会において、在学生には指導教員を通じて周知している。

《13 理学研究科》

ホームページ《資料IV-1-2 No. 1》で教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針が公表され、履修要覧《資料IV-1-5 pp. 14-22》に記載されている。学生に対しては、入試説明会で説明し、さらに4月はじめに開催される研究科及び各専攻の新入生ガイダンスで説明している。

《14 工学研究科》

『大学院履修要覧・シラバス』《資料IV-1-5 pp. 78-89》、『大学院案内』《資料IV-1-6》、本研究科オリジナル・サイトに、教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を掲載し、大学構成員への周知と社会への公表を行っている。また、学生には大学院入学時のガイダンスにおいても説明を行っている。

《15 歴史民俗資料学研究科》

教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針は、歴史民俗資料学研究科ホームページ、履修要覧、歴史民俗資料学研究科パンフレット《資料IV-1-12》、及び大学院入試説明会やトライアルコース《資料IV-1-15》の機会を利用し、周知・公表されている。